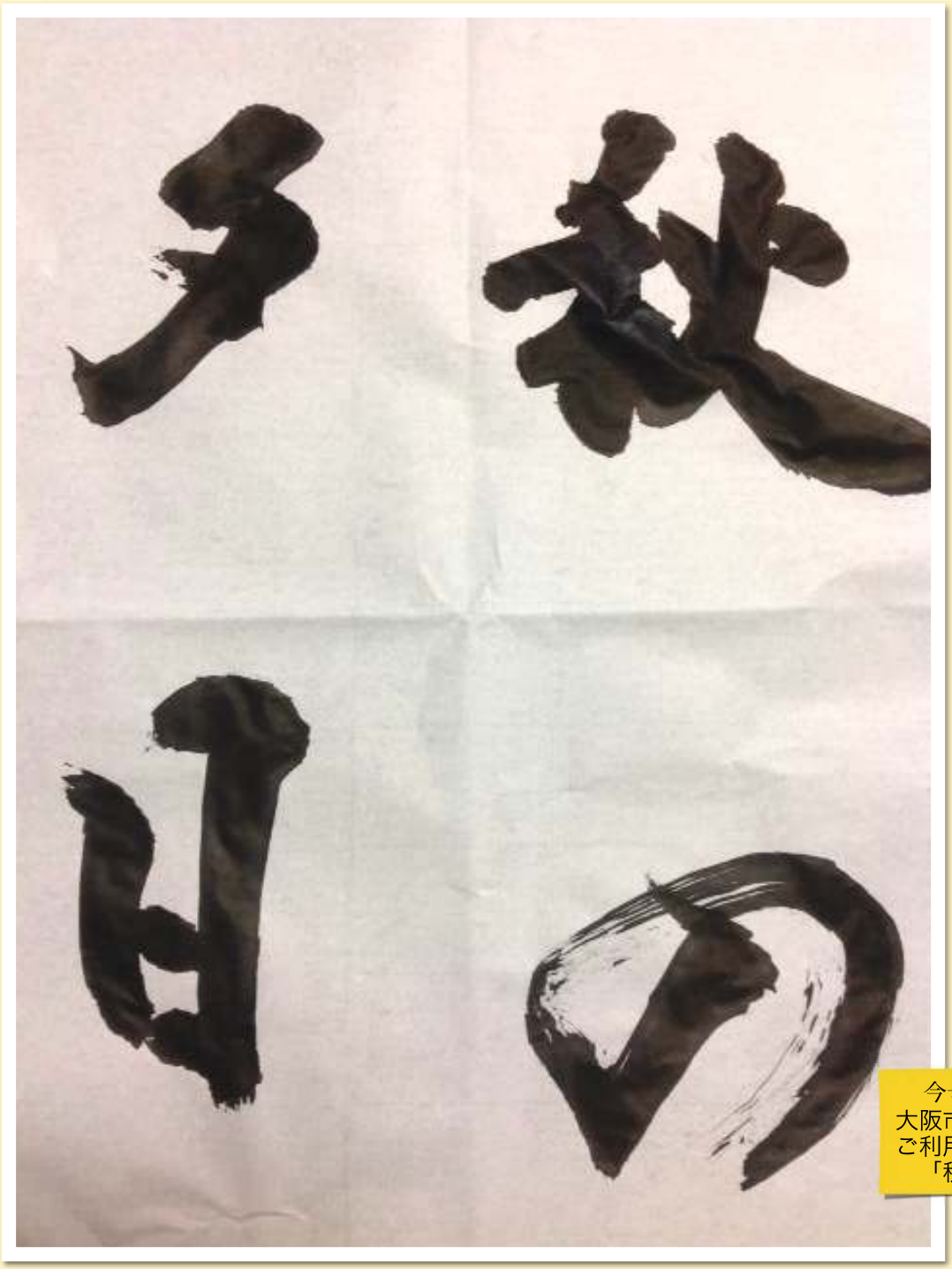
第４号
2013 VOL.4
隔月誌
平成25年11月発行

かなえるレター

かなえるリハビリ訪問看護ステーション



今号の表紙
大阪市港区
ご利用者より
「秋の夕日」

かなえるレターからのお知らせ

ご利用者数　H25/10/21時点
介護保険 328名　その他 3名
医療保険 160名　計 491名　社員数49名

ご利用者からの投稿募集



かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。
俳句、川柳、随筆、絵手紙など作品の種類は問いません。
あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？
詳細は郵送、FAX、メール、または、訪問スタッフまで
お問い合わせ下さい。あなたの投稿をお待ちしております。

かなえるリハビリ
訪問看護ステーション
〒550-0015
大阪市西区南堀江1-16-15
名城ビル4階D号室
tel 06-6531-3500
fax 06-6531-3510
e-mail：info@kanaerulink.co.jp

かなえる TOPIC



先日、宮内藤兵衛さまのリハビリのご様子、日頃の活動の取り組みを取材させていただきました。
宮内さまは川柳がご趣味で、30年間続けておられます。大手新聞への投稿もされており、今まで掲載された句は200句にもなります。今年もすでに6句が掲載され、年内にあと2句は掲載させたいと力強く仰っておられました。また、今でも一週間に50～100句ほど創作されておられるそうです。川柳がびっしりと書き留められている愛用の手帳は、長年使い込まれており、手に取るとずっしりと重みが伝わってきます。
「川柳は手帳一冊あれば大丈夫。日々のなかで心に残った事を句にしている。意欲ある限り川柳は一生続けていく。」
そう話されていた宮内さまの表情は大変凛々しく、生き生きとされていました。

宮内さまの川柳作品

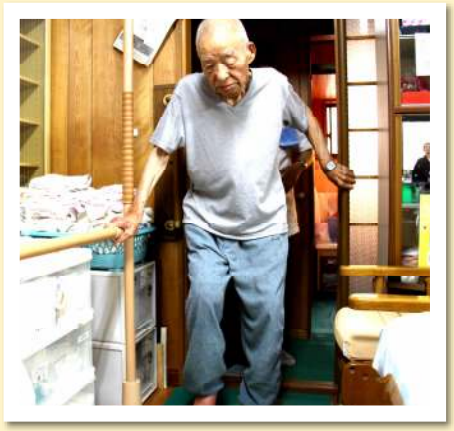
わがままを　妻は笑顔で　受け止める
ご夫婦の仲の良さが伝わってくる一句ですね。思わずご夫婦の姿を思い浮かべて笑みがこぼれてしまいます。

手に重い　志野の茶碗にある　気迫
志野とは志野焼のことです。素朴でずっしりとした茶碗の中に感じる、力強さたくましさを表した句です。

道はるか　卒寿の気迫　衰えず
今回の取材時に作っていただいた句です。
まさに今の宮内さまを表現されています。卒寿(90歳)を迎えてもなお、前に進んでいこうとされるお気持ちに感服します。

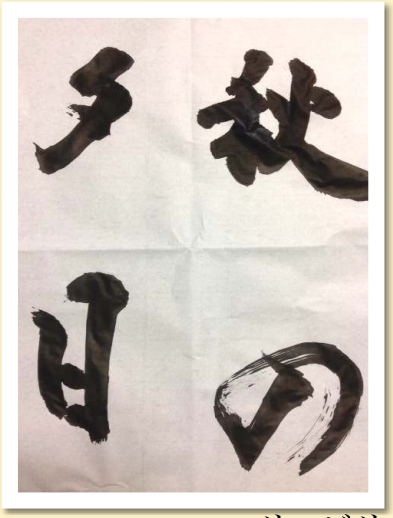


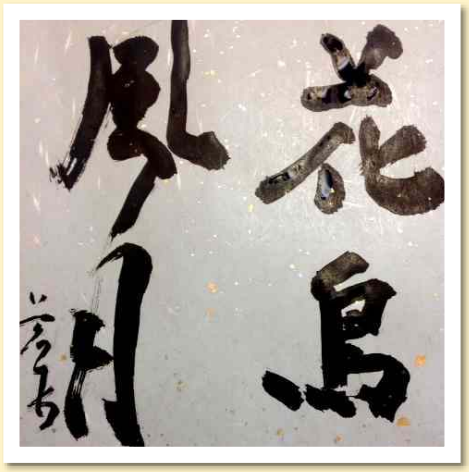




いつも高い目標をお持ちの宮内さま。担当作業療法士の永吉とのリハビリにも熱心に取り組まれています。この日のリハビリメニューも真剣な面持ちでした。
宮内さまはリハビリの目標をこう話されていました。
「しっかりとリハビリを頑張って、もっと歩ける体を作っていく。体力をつけて103歳まで川柳を作り続けていく。」
宮内様の想いを胸にこれからもサポートさせていただきたいと思います。

ご利用者投稿のコーナー







担当スタッフより

リハビリの時間に書道に取り組まれておられます。今回はその中から、力強い作品をご提供いただきました。
作品が出来上がったあと素敵な笑顔をされていた事が忘れられません。
これからもたくさんの笑顔を見せてくださいね！

スタッフインタビュー

このコーナーでは、かなえるリハビリ訪問看護ステーションに所属するスタッフのご紹介をさせていただきます。
今号は、北河内エリアで活動している作業療法士の紙谷健太さんです！

Q１.作業療法士になろうと思ったきっかけは何ですか？
A：祖母が病気をしたことがきっかけです。

Q.２これまでのご利用者との関わりで印象に残っていることはありますか？
A：あきらめかけていたことが、できるようになったこと。
（病院勤務時）患者様が退院されたあと、良くなったことを報告に来て頂いたことです。

Q.３仕事をしてて「やった！」と感じることは何ですか？
A：ご利用者はもちろんのこと、ご家族や関係者の方々も、笑顔になったり喜んで頂いた時に「やった！」感じます。

Q.４作業療法士として一番大切にしていることは何ですか？
A：どんな想いも大切に、その目標に向かっていけるようにお手伝いをしています。

Q.５最後に、紙谷さんの将来の夢をおきかせください。
A：子ども達が自分の夢を実現できることが私の夢です。
（まだ幼いですが…）



Profile

名前：紙谷　健太
趣味：休みの日に子ども達と遊びにいくこと
特技：スマイル
好きな物：デザート
好きな言葉：七転八起
長所・短所：良くも悪くも、思い込んだら一直線

スタッフより

頑張り屋の紙谷さん。見た目の印象とは違い(？)、とても仕事熱心な療法士さんです。
ご利用者・ご家族をはじめ、関係ある方々へ丁寧な関わりをされています。見習うところがたくさんありすぎて、書ききれません。今日もやさしさあふれる笑顔で訪問中の紙谷さんです☆

かなえる
～ご利用者とともに～
女子会　第二弾



前回(かなえるレター2号)、利用者さん宅での女子会についてかなえるレターに掲載したところ、「かなえるレターの記事みたよ！」いう嬉しいお声をたくさんいただきました。
そして、ある利用者さんが
「私も女子会がしたい！　そしてかなえるレターに載せて欲しい」と、、、
実はその利用者さまは、療法士には内緒で主治医の先生の了承を得たり、他事業所の看護師さんへのお誘いをしたり、店の選定(予約は看護師さんに依頼)など着々と女子会の準備をされていたのです！
そして最後に、片山にお誘いがかかりました！
以前お世話になっていた看護師さんや療法士、そして参加可能な人は子どもも一緒に、合計14人という大所帯での女子会が行われました！





利用者さんが主導での女子会開催となりました。改めて利用者さんの願い、想いを少しでもかなえられるような立場でありたいなと思いました。
誰かに手紙を書きたい、昔していた趣味がしたい、キレイになりたい、今回のように女子会を開催したい、、、何でもいいんです。 当たり前の事が当たり前に実現できるように。
その一部分でも叶えられるように、あるいは近い形で叶えられるように、共に考え、共にチャレンジできればと思っています。

チャレンジをするには少し力はいりますが、ぜひ皆さんの心の中に秘めている想いがあれば、いつものかなえるスタッフに教えてください。
私たちと共に初めの第一歩を、そしてさらなるステップアップができますように。

作業療法士　片山　卓美

編集後記

日ごとに日も短くなり、めっきり寒くなってきましたね。みなさまいかがお過ごしでしょうか。
今号もたくさんの利用者さまの想いを記事にすることができました。お会いしたことのない利用者さまが多いですが、紙面を作成していると、ふとその利用者さまのことを自然と思い浮かべています。作品や取り組みに対する想いが伝わってきているんだなぁ、と感じます。
たくさんの人を思い浮かべられるようにこれからも紙面作りに精進していきます。



編集者　井戸　孝則